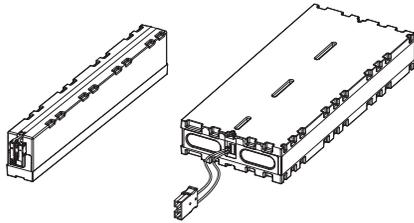


## 取扱説明書

このたびはオムロン製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
この取扱説明書をよく読んでからご使用ください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。



### オムロンソーシャルソリューションズ株式会社

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2020 K1M-D-21028D

本製品は、UPS(型式BU5002R/BU3002R/BU3002RH)専用の交換用バッテリーパック(以降バッテリーと呼ぶ)です。

#### ●付属品について

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。  
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンターへご連絡ください。

- 取扱説明書 ..... 1 枚
- バッテリー交換日ラベル ..... 1 枚
- リプレイスサービス引取申込書 ..... 1 枚
- バッテリーカバー固定ねじ(予備)  
BUB5002R ..... UPS 用 2本、増設バッテリーユニット用 7本  
BUB3002R ..... UPS 用、または増設バッテリーユニット用 2本

### 安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。  
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

#### ●警告 / 注意表示の意味

#### ⚠ 警告

正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。  
また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。

#### ⚠ 注意

正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。  
なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### ●警告表示

### ⚠ 警告

梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管する。可燃性ガスがある場所でバッテリーを交換しない。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発、火災の恐れがあります。
- 小さいお子様がかぶつたりのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

バッテリーの分解、改造をしない。

- 液体(電解液)が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえたりしない。

- バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。
- 液体(電解液)が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。
- 落下に巻き込まれるとけがをする恐れがあります。

バッテリーを火の中に投入したり、破壊したりしない。

- バッテリーが破裂、爆発したり、液体(電解液)が漏れたりすることがあります。また、火災の恐れがあります。

交換作業は安定した平らな場所で行う。

- バッテリーは落下しないよう、両手でしっかりと保持してください。落下によるけが、バッテリーからの液漏れによる失明や、やけどなどの恐れがあります。
- バッテリーコネクタを差し込んだときに、「パチッ」と音が聞こえることがありますが、問題ありません。

バッテリーは必ず指定品を使用する。

- 指定以外のバッテリーを使用した場合、本機の故障、発煙、発火、火災の恐れがあります。不適切な種類のバッテリーに交換した場合は、爆発の恐れがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーに交換してください。バッテリーについては、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

バッテリーから液漏れがあるときは液体(電解液)に触れない。またバッテリーを逆さまにしない。

- 失明や、やけどをする恐れがあります。
- 液体(電解液)が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断(診療)を受けてください。
- 交換用バッテリーパックを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

### ⚠ 警告

バッテリー接続コネクタやバッテリー収納部に金属物を挿入しない。バッテリーやコネクタの端子間をショートさせない。

- 感電や発煙、発火、やけどの恐れがあります。
  - 使用済みのバッテリーでも、内部に電気エネルギーが残っています。
- バッテリーを取り外すときに、ケーブルやコネクタを持って引っ張らない。
- ケーブルの損傷により、感電や発煙、発火の恐れがあります。

バッテリー交換の際は、以下の注意事項を遵守する。

遵守しない場合、UL 規格に適合しません。

- 感電、ショートの恐れがあります。
  - ・時計、指輪などの貴金属類は着用しないでください。
  - ・グリップ部分が絶縁されたドライバを使用してください。
  - ・絶縁性の手袋と靴を着用してください。
  - ・バッテリーの上には工具や金属類を置かないでください。
  - ・バッテリーを接地しないでください。また、接地状態のバッテリーには触らないでください。
  - ・本体内部に手を入れしないでください。
- バッテリー交換はバッテリーの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、またはその人の監督の下で行ってください。

#### ●注意表示

### ⚠ 注意

UPS 本体に増設バッテリーユニットを接続している場合は、UPS 本体と増設バッテリーユニットのバッテリーを必ず同時に交換する。

- 新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用するとバッテリーが早く劣化し、液漏れする恐れがあります。

新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しない。

- バッテリーが早く劣化し、液漏れする恐れがあります。

UPS 本体を UL 規格適合品として使用する場合は、バッテリー交換作業は、接続機器の AC 入力プラグを抜いた状態で UPS 本体の電源を切り、商用電源の供給を止めてから行う。

- 運転状態でのバッテリー交換機能は、UL 規格に適合していません。
- 交換作業中は、接続機器への給電はできません。バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。また、運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、出力は停止します。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

### お願い

<ご使用開始前に>

- 購入後は早めに充電してください。
- ご購入後長期間充電しないと、バッテリーが劣化し、使用できなくなることがあります。
- 充電時間については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。

- もしバッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早くバッテリー劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

<ご使用中に>

頻繁にバックアップ動作をする用途に使用しないでください。

- バッテリーの劣化が早まり、寿命が著しく短くなる場合があります。

この製品には、鉛バッテリー(鉛蓄電池)を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリーの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、UPS 本体の取扱説明書(最終ページ)の「お問い合わせ窓口」までご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス引取申込書をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社までご送付ください。その際に、ショートの危険がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。

<保管する場合>

バッテリーを UPS 本体に入れて保管される場合はバッテリーを完全に充電し、電源を切ってください。また、以下の通り定期的に再充電してください。

バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置すると過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。

- 充電時間については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

● 再充電の目安

- ・保管温度 25°C 以下 : 6 か月以内
- ・保管温度 40°C 以下 : 2 か月以内

- 長期間保管される場合は 25°C 以下の環境を推奨します。
- 保管中は UPS 本体の「電源」スイッチを切ってください。

#### ■バッテリーの点検

鉛バッテリーは寿命があります。

(保存/使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。)

寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

- バッテリーの期待寿命 (※保証値ではありません)

周囲温度	25°C	30°C	35°C	40°C
バッテリー期待寿命	5 年	3.5 年	2.5 年	1.7 年

- バッテリー点検の目安、頻度

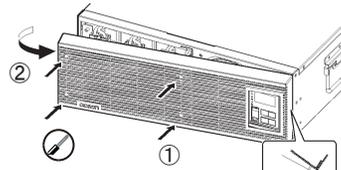
周囲温度	6ヶ月ごとの点検	1ヶ月ごとの点検
30°C	購入時から 2 年まで	使用開始から 2 年以降
25°C	購入時から 4 年まで	使用開始から 4 年以降

# バッテリーの交換

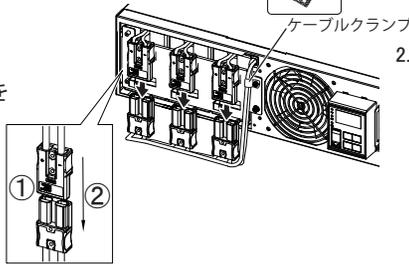
ねじを回すためにドライバが必要であることを示します。  
ねじの形状に合ったドライバをご用意ください。

## <BU5002R>

1. フロントパネルのねじ(4本)を緩め(①)、フロントパネルを取り外します(②)。

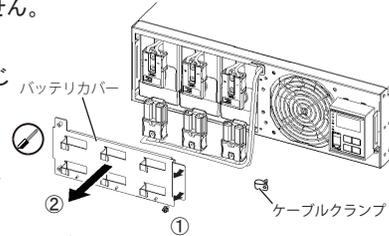


2. 左から右へ順にコネクタをバッテリーカバーから外し、バッテリーコネクタ(①)を持ちながら、コネクタを引き外します(②)。

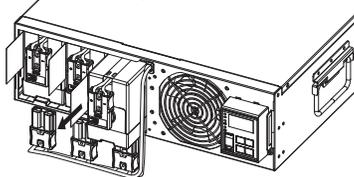


※生産時期によりケーブルクランプがないことがあります。その場合は、以降のケーブルクランプの取り外しや取り付け、ケーブルクランプへのバッテリーケーブルの収納を行う必要はありません。

3. バッテリーカバーを固定しているねじ(2本)とケーブルクランプ(1個)を取り外します(①)。バッテリーカバーを右側に軽く押し込み、手前に引くとカバーが外れます(②)。



4. バッテリー前面にある取っ手を持って、バッテリーを取り出します。バッテリーのケーブルは引っ張らないでください。



5. 新しいバッテリーをUPS本体の奥まで挿入し、収納します。
6. バッテリーカバーの右端をUPS本体に差し込み、左側を押し込んでから左にスライドさせて取り付けます。
7. 手順3で外したねじ(2本)とケーブルクランプ(1個)でバッテリーカバーを取り付けます。
8. バッテリーコネクタを接続し、右から左へ順にコネクタをバッテリーカバーへ固定します。  
※運転停止(電源出力停止)状態で交換作業を行っている場合、コネクタ接続時にパチッと音がすることがありますが、異常ではありません。  
バッテリーケーブルをケーブルクランプに収納します。
9. フロントパネルのねじ(4本)を締め、フロントパネルを取り付けます。
10. 交換作業が終わったら、自己診断テストを実施します。テストが終了すると、自動的に運転状態に戻ります。

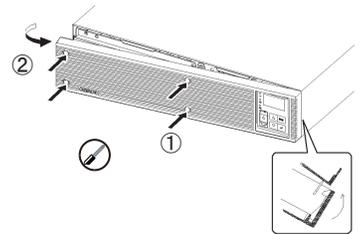
● 運転停止(電源出力停止)状態でバッテリー交換を行った場合  
商用電源に接続し、本機の電源を入れてください。自動で自己診断テストが実施されます。

● 運転中(電源出力中)にバッテリー交換を行った場合  
LCDメニューの[2.コントロール]—[ジコシダンテストカイシ]で、手動で自己診断テストを実施してください。

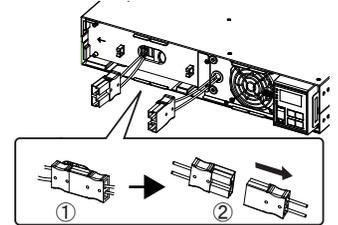
11. カレンダーの設定をします。  
商用電源の供給を止めてバッテリー交換を行った場合は、内蔵時計が未設定となるため、カレンダーの設定を行ってください。設定方法はUPS本体の取扱説明書を参照してください。
12. バッテリー寿命カウンタをリセットします。  
LCDメニューの[2.コントロール]—[バッテリージュミョウカウンタリセット]で、バッテリー寿命カウンタをリセットできます。
13. バッテリー交換日を記録します。  
バッテリー交換日は、付属のバッテリー交換日ラベルに記入し、UPS本体に貼り付けてください。  
LCDメニューの[3.セッテイ]—[バッテリーセッテイ]—[バッテリーコウカンビ]で、バッテリー交換日を入力して管理することもできます。

## <BU3002/BU3002RH>

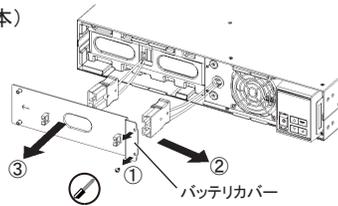
1. フロントパネルのねじ(4本)を緩め(①)、フロントパネルを取り外します(②)。



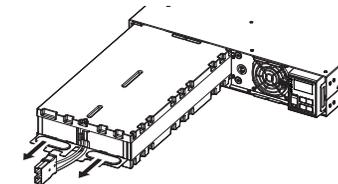
2. バッテリーコネクタをロックしているクリップを押し(①)、バッテリーコネクタを持ちながら、コネクタを引き外します(②)。



3. バッテリーカバーを固定しているねじ(2本)を取り外します(①)。バッテリーカバーを右側に軽く押し込み、手前に引くとカバーが外れます(②)。



4. バッテリー前面の透明カバーを手前に外して、バッテリーを引き出す取っ手にします。バッテリーのケーブルは引っ張らないでください。断線する恐れがあります。



5. 新しいバッテリーをUPS本体の奥まで挿入し、収納します。
6. バッテリーカバーの右端をUPS本体に差し込み、左側を押し込んでから左にスライドさせて取り付けます。
7. 手順3で外したねじ(2本)でバッテリーカバーを取り付けます。
8. バッテリーコネクタを接続し、右から左へ順にコネクタをバッテリーカバーへ固定します。  
※運転停止(電源出力停止)状態で交換作業を行っている場合、コネクタ接続時にパチッと音がすることがありますが、異常ではありません。
9. フロントパネルのねじ(4本)を締め、フロントパネルを取り付けます。
10. 交換作業が終わったら、自己診断テストを実施します。テストが終了すると、自動的に運転状態に戻ります。

● 運転停止(電源出力停止)状態でバッテリー交換を行った場合  
商用電源に接続し、本機の電源を入れてください。自動で自己診断テストが実施されます。

● 運転中(電源出力中)にバッテリー交換を行った場合  
LCDメニューの[2.コントロール]—[ジコシダンテストカイシ]で、手動で自己診断テストを実施してください。

11. カレンダーの設定をします。  
商用電源の供給を止めてバッテリー交換を行った場合は、内蔵時計が未設定となるため、カレンダーの設定を行ってください。設定方法はUPS本体の取扱説明書を参照してください。
12. バッテリー寿命カウンタをリセットします。  
LCDメニューの[2.コントロール]—[バッテリージュミョウカウンタリセット]で、バッテリー寿命カウンタをリセットできます。
13. バッテリー交換日を記録します。  
バッテリー交換日は、付属のバッテリー交換日ラベルに記入し、UPS本体に貼り付けてください。  
LCDメニューの[3.セッテイ]—[バッテリーセッテイ]—[バッテリーコウカンビ]で、バッテリー交換日を入力して管理することもできます。

本取扱説明書に記載されている各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されております。本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

## オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-3-13 品川フロントビル 7F  
TEL: 03-6718-3630

【オムロン電子機器カスタマサポートセンタ】

**0120-77-4717**

【電話受付時間】 月曜日～金曜日(祝祭日、当社の休日を除く)  
9:00～17:30(12:00～13:00を除く)

FAX: 03-6718-3632

メールアドレス: [omron\\_support@omron.com](mailto:omron_support@omron.com)